

約束

校 長 武井 正明

昨年、長嶋茂雄が亡くなって、弔問に訪れた松井秀喜は「（長嶋監督は）私に沢山の事を授けてくださいましたので、今後どういう形で次の世代に継承していくか、はっきりとした形は見えませんが、長嶋監督と生前、約束したこともありますので…その約束は果たしたいと思っています」とコメントした。

私はこの「約束」を疑いながら信じていた。信じて待った。その甲斐あった。今は疑ったことを松井にお詫びしたい。

今の巨人軍は低迷の一途だ。出口は見えない。選手もベンチも地味になった、華がない。そこへ光が差し込んできた気分だ。総てお膳立てされた環境ではなく、敢えて「火中の栗」を拾う決意をした松井秀喜新監督を、全面的に私は支持する。



ここ数年、ドームに行く気が全くしなかった。見たいのは侍ジャパンだけ。巨人戦を観る気がしなかった。でもこの吉報を聞いて、久々にワクワクしてきた。来年は優勝などできなくてもいい。恩師の新監督1年目は球団史上初の最下位だった。それでもいい。球界のエリートコースを歩いてきた松井が、どん底から這い上がる背中も俺は見たい。その闘う姿がある限り、絶対に俺はついて行く。

～闘魂込めて 大空へ 球は飛ぶ飛ぶ 炎と燃えて

おお ジャイアンツ その名担いて グランドを 照らすプレイの逞しさ

ジャイアンツ ジャイアンツ ゆけゆけ それゆけ 巨人軍～

松井秀喜のホームランを観たのは1回。1998年8月20日の東京ドーム、対横浜戦。私はホーム裏の2階パノラマ席から観ていた。当時はまだ職員旅行があった時代。同僚の先生方とビール片手にワイワイ言いながら楽しく観戦した。

試合は桑田真澄が先発し、高橋由伸、松井秀喜、清原和博のクリーンナップ。監督は勿論長嶋茂雄。6回表無死走者なし。横浜の野村弘樹の初球129kmスライダーを、右翼3階席の屋根の裏に放り込んだ。推定飛距離150m、とにかく飛距離は破格だった。試合は快勝！試合後のヒーローインタビューで松井の甲高い声が響いていた…。あれから28年か…。

今度は松井秀喜が長嶋さんとの約束を果たし、背番号90を背負って長嶋監督と一緒に東京ドームに帰ってくる。師弟の物語はこれからも続く。

松井新監督、お帰りなさい!! 天国の長嶋監督も俺の親父も喜んでるに違いない。

早く松井監督のユニホーム姿が見たい!! 来年は堀内恒夫のユニホームを着て、虎ファンの妻と、松井巨人が藤川阪神を倒すところを観に、必ず東京ドームに行きます!!

あとは織田クン、3年だけでいい。松井監督を男にしてくれ～っ!! (敬称略)